ことは、子どもたちにとってはとても新鮮

で、喜びもひとしおだったようだ。(写真右)

また、同授業では、サンディトリップの一

学部わちゅばや新

発行所 わかくす 中学部 新聞編集 連絡先 47-8755

番組にリクエストを!



自分たちがのった新聞記事に興味津々

た1枚の記事が子どもたちの心をぐっとつ 声が上がっていた。自分の姿が新聞に出る 拡大してみると、 ○○ちゃんだ」と生徒たちからは大きな歓 んだ。 「の授業では、 [語の時間、 歌 手サンディトリ 新聞記事の写真をテレビに映して 振り 長崎新聞の朝刊に掲載され 「〇〇君がいる!」「あっ、 返りの授業が行われた。 ツ プが来校した翌日 \mathcal{O}

口

手紙。 は、 も考えた。中学部3年生、大串来衣夢さん れるかな」と期待に胸を膨らませていた。 こうした手紙を書く 「(ラジオで) 手紙とペンネームがよま ラジオ番組ヘリクエスト曲を添えての それぞれの生徒は、 、機会はあっ 「ペンネーム」 たが、 今回



て記念撮影 それぞれの生徒が書いた手紙を掲げ

わる方々が来校され、

すばらしい演奏など

これまでも、同校には、様々な文化芸術に関

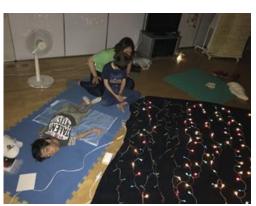
人へのお礼の手紙を書く学習も行われた。

を聞かせていただく機会があり、

その都度

風 の

くし、クリスマスライトなどの電飾を配 ホタルに見立てた電飾に興味をもって見 入っていた。 らぎ」と「虫の音」を選んだ。2名の生徒は、 ジした空間を演出 が学習のコンセプト。 光源に注意を向けることをねらっている。 た教材を設置することで、 の中で、 今年は ホタル」 物詩がお目見えした。これは教室を薄暗 W課程の学習グループでは、 「ことば・かずに親しむ」という学 エリックカールの「さびしがりや 0) 読み語りを聞いた後の追体験 BGM には 「川辺の蛍」をイメー 生徒が主体的に 今年も 「川のせせ 夏



「川辺の蛍」に視線を向ける生徒